



## 2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月13日

上場会社名 藤久株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 9966 URL https://www.fujikyu-corp.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 智章  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 筒井 和宏 TEL 052-774-1181  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第3四半期の業績 (2020年7月1日～2021年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	16,296	7.0	1,191	—	1,201	—	987	—
2020年6月期第3四半期	15,230	6.0	△262	—	△342	—	△843	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	80.30	—
2020年6月期第3四半期	△100.29	—

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	14,198	9,572	67.4
2020年6月期	14,430	8,880	61.5

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 9,572百万円 2020年6月期 8,880百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年6月期	—	12.50	—		
2021年6月期(予想)				19.50	32.00

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 2 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。  
 3 配当予想の修正については、本日(2021年5月13日)公表いたしました「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年6月期の業績予想 (2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,185	△5.2	1,150	30.2	1,150	53.4	850	200.8	69.10

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年6月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を顧慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	12,301,000株	2020年6月期	12,301,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	868株	2020年6月期	868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	12,300,132株	2020年6月期3Q	8,409,132株

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高162億96百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益11億91百万円（前年同四半期2億62百万円の営業損失）、経常利益12億1百万円（前年同四半期3億42百万円の経常損失）及び四半期純利益9億87百万円（前年同四半期8億43百万円の四半期純損失）となりました。

各部門別の経営成績は、次のとおりであります。

#### （店舗販売部門）

当第3四半期累計期間における店舗展開につきまして、退店では「クラフトハートトーカー」23店舗、「クラフトパーク」1店舗、「クラフトループ」1店舗及び「サントレーム」4店舗の合計29店舗を閉鎖いたしました。この結果、当第3四半期会計期間末の総店舗数は390店舗となりました。

店舗運営面につきましては、引き続き「①会員制度の進化、②教室運営の拡大、③システム面の刷新、④美観修繕の実施」を重点目標として定め、収益向上に繋げるべく取り組んでおります。①会員制度の進化につきましては、3月に新アプリをリリースし、当第3四半期会計期間末までに約50千名の会員をアプリ会員へ切替えることができました。手芸専門店の有効会員数は、新アプリのリリース記念キャンペーンや業績表彰制度により店舗の入会獲得意識が向上したことで、第2四半期会計期間末の1,488千名から、当第3四半期会計期間末は1,511千名と約23千名の増加となりました。②教室運営の拡大につきましては、新たにWeb講習会を開始いたしました。これまで、トライアル店舗の店頭のみで告知していましたが、新たにホームページで告知することにより、全国のお客様に参加していただける機会が増えました。今後もWeb講習会の確立に向けてトライアルを進めてまいります。③システム面の刷新につきましては、2021年7月からのオムニチャネル化の推進に向け、新アプリのリリースや一部店舗での動作検証を進めております。④美観修繕の実施につきましては、新コンセプトに基づくクラフトハートトーカーのスタンダード店舗（モデル店舗）を構築するため、従来の商品構成や什器配列を大幅に見直し、見やすく買いやすい売り場となるよう大規模な改装をMARK IS静岡店、イオンタウン名西店、醜顔店の3店舗で実施しました。モデル店舗では、手作りが楽しめる場所としてミシンなどの道具類も貸し出すレンタルスペースの導入など新しい取組みを積極的に実施しています。本事業年度内にさらにもう1店舗の導入を計画しております。また老朽化の目立つ路面店の外観修繕も5月、6月にそれぞれ9店舗計画しております。

重点目標以外の取組みでは、子育て世代を応援する目的で、15歳以下のお子様を子育て中の方を対象に「子育てエールパス」サービスをアプリにて配信いたしました。子育てエールパスでは、割引サービスやお得なクーポン、手芸情報の配信で子育て世代を応援しております。1月のリリース後、当第3四半期会計期間末までに約100千名が取得され好評いただいております。

商品区分別につきましては、ピーク時と比較するとマスク作製の需要は落ち着きつつありますが、巣ごもり需要によるミシン販売とそれに連動した生地的好調な販売や子育てエールパスの効果により当会計期間の主力商品である入園入学関連商品の販売が好調で、生地部門では前年同期比21.1%増となりました。

これらの結果、当部門の売上高は、154億62百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

#### （通信販売部門）

通信販売部門では売上高の拡大と黒字化に向けた業務の効率化を重点目標に取り組んでまいりました。売上高の拡大では、生地部門でガーゼ生地、入園入学関連生地の販売好調により前年同四半期を大きく上回る結果となりました。黒字化に向けては、配送業者のピッキング作業を見直しコスト低減を実現しました。更なる業務の効率化に取り組んでまいります。

これらの結果、当部門の売上高は、8億9百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

#### （その他の部門）

当部門の内容は不動産賃貸であり、売上高は24百万円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

### （2）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月15日に公表しました2021年6月期通期の業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響について、引続き状況を注視してまいります。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で把握可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

また、2021年6月期の期末配当予想につきましては、従前の予想から7円増額し、1株当たり19.50円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は1株当たり32円（うち中間配当金12.5円）となる予定です。

なお、配当予想の修正につきましては、本日（2021年5月13日）「期末配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,143,162	4,922,775
受取手形及び売掛金	307,849	343,119
電子記録債権	2,159	471
商品	5,186,901	5,578,599
貯蔵品	955	494
その他	1,014,040	740,269
貸倒引当金	△2,028	△1,675
流動資産合計	11,653,040	11,584,055
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	193,147	201,201
土地	913,814	644,957
リース資産（純額）	18,507	15,064
その他（純額）	23,523	25,121
有形固定資産合計	1,148,992	886,345
無形固定資産	95,765	331,506
投資その他の資産		
差入保証金	1,331,799	1,179,585
その他	200,621	217,471
投資その他の資産合計	1,532,421	1,397,057
固定資産合計	2,777,179	2,614,909
資産合計	14,430,220	14,198,964

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,155,511	1,015,422
電子記録債務	1,084,940	1,115,123
リース債務	82,600	61,710
未払法人税等	234,590	133,122
賞与引当金	58,109	120,499
ポイント引当金	64,392	69,816
事業構造改善引当金	69,229	9,882
資産除去債務	88,050	20,125
その他	1,606,010	1,071,223
流動負債合計	4,443,435	3,616,926
固定負債		
リース債務	85,446	40,923
役員退職慰労引当金	34,893	7,497
資産除去債務	795,298	787,625
その他	190,730	173,186
固定負債合計	1,106,368	1,009,232
負債合計	5,549,803	4,626,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,840	3,125,840
資本剰余金	806,070	806,070
利益剰余金	4,948,535	5,628,786
自己株式	△976	△976
株主資本合計	8,879,469	9,559,720
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	946	13,084
評価・換算差額等合計	946	13,084
純資産合計	8,880,416	9,572,804
負債純資産合計	14,430,220	14,198,964

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年7月1日 至 2021年3月31日）
売上高	15,230,623	16,296,451
売上原価	6,477,625	6,659,438
売上総利益	8,752,998	9,637,012
販売費及び一般管理費	9,015,959	8,445,511
営業利益又は営業損失（△）	△262,960	1,191,501
営業外収益		
受取利息	981	822
受取配当金	997	921
協賛金収入	500	—
受取手数料	4,434	6,133
受取保険金	2,085	859
その他	3,183	6,389
営業外収益合計	12,182	15,125
営業外費用		
支払利息	13,023	1,738
シンジケートローン手数料	76,550	—
コミットメントフィー	27	2,627
その他	2,233	635
営業外費用合計	91,835	5,001
経常利益又は経常損失（△）	△342,613	1,201,625
特別利益		
固定資産売却益	2,083	6,157
受取補償金	—	1,394
特別利益合計	2,083	7,552
特別損失		
固定資産売却損	121	—
固定資産除却損	503	936
減損損失	224,097	3,058
投資有価証券評価損	3,226	—
事業構造改善引当金繰入額	40,390	—
事業構造改善費用	131,186	10,159
その他	—	762
特別損失合計	399,526	14,917
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△740,055	1,194,260
法人税、住民税及び事業税	102,547	206,506
法人税等調整額	740	—
法人税等合計	103,287	206,506
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△843,342	987,753

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。